令和 8年　業種別労働災害発生状況

（令和8年10月末現在）　　帯広労働基準監督署

区分 / 業種別		令和 8年（10月末）			令和 7年 同 期			対 前 年		本年分業種割合（%）
		死亡	休業4日以上	合計	死亡	休業4日以上	合計	増減数	増減率（%）	
全産業合計		4	361 (12)	365 (12)	8 (1)	384 (16)	392 (17)	-27	-6.9	100.0
除く鉱業計		4	361 (12)	365 (12)	8 (1)	384 (16)	392 (17)	-27	-6.9	100.0
製造業		2	53	55	1	66 (1)	67 (1)	-12	-17.9	15.1
内訳	食料品		34	34	1	32	33	1	3.0	9.3
	木材木製品	1	5	6		5	5	1	20.0	1.6
	紙・パルプ									
	窯業・土石		1	1				1		0.3
	金属・機械		6	6		12	12	-6	-50.0	1.6
	その他	1	7	8		17 (1)	17 (1)	-9	-52.9	2.2
鉱業										
土石採取業						5	5	-5		
建設業			49 (3)	49 (3)	4	35 (1)	39 (1)	10	25.6	13.4
内訳	土木工事業		22 (3)	22 (3)	3	10	13	9	69.2	6.0
	建築工事業		12	12	1	9	10	2	20.0	3.3
	木造建築業		7	7		2	2	5	250.0	1.9
	その他		8	8		14 (1)	14 (1)	-6	-42.9	2.2
道路貨物運送業			46 (3)	46 (3)		39 (5)	39 (5)	7	17.9	12.6
その他の運輸業			5	5	1 (1)	6 (1)	7 (2)	-2	-28.6	1.4
陸上貨物取扱業			1	1		2	2	-1	-50.0	0.3
港湾荷役業			1	1		2	2	-1	-50.0	0.3
林業		1	8	9	1	9	10	-1	-10.0	2.5
漁業			1	1		4	4	-3	-75.0	0.3
卸売・小売業			49 (2)	49 (2)		46	46	3	6.5	13.4
清掃業			15	15	1	14	15			4.1
その他の事業		1	133 (4)	134 (4)		156 (8)	156 (8)	-22	-14.1	36.7
内訳	農業		10 (1)	10 (1)		8	8	2	25.0	2.7
	畜産業		37 (1)	37 (1)		44	44	-7	-15.9	10.1
	接客娯楽業		27	27		15	15	12	80.0	7.4
	農業協同組合		4	4		9	9	-5	-55.6	1.1
	その他	1	55 (2)	56 (2)		80 (8)	80 (8)	-24	-30.0	15.3

※本統計は、労働者死傷病報告（休業4日以上）により集計したものです。

※（ ）内は、交通事故内数です。

令和8年　死亡災害発生状況

帯広労働基準監督署

発生月	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
1月	18時	その他の事業	おぼれ	水	被災者の帰りが遅いことに異変を感じた家族が警察に通報し、事業場付近を捜索したところ、岸壁の取水管のホースが海中から岸壁に引き上げられた状態であった。翌日、漁港内の海中で被災者が発見されたもの。
6月	8時	木製品製造業その他の木材・	からの墜落・転落2メートル以上	通路の状態その他の床面・	被災者を含む２名の労働者は、ベルトコンベアの部品交換作業に従事していた。２名は前後になって部品を持ちながら、建屋の壁面に外付けされた架設通路上を移動していたところ、後ろ側を歩いていた被災者が腐食が進んでいた床材を踏み抜き、地上まで約５m墜落したもの。
9月	5時	その他の製造業	からの墜落・転落2メートル以上	建築物・構築物等その他の仮設物・	TMR（混合飼料）を製造する事業場において、バンカーサイロ内の飼料を覆うビニールシートをはがす作業を行っていた被災者が、壁面から２．７m下のアスファルト状の地面で意識をなくして倒れている状態で発見されたもの。
10月	12時	木材伐出業	はさまれ、巻き込まれ	伐木等機械	被災者は、国有林の現場で、木材グラップルを用いた集積（巻立）作業に従事していた。被災者はエンジンを掛けたまま、運転席内で昼食をとった後、運転席から降りようとしたころ、着用していたジャンパーに安全レバーが引っ掛かって外れ、グラップルが動き出し、転落した被災者がクローラに轢かれたもの。

※　本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。